



## 地域ぐるみで豪雪を 乗り切りましょう

市長レポート No.275

特集・記録的な大雪

毎日の除雪作業、本当にお疲れ様です。この冬は大変な雪に見舞われ、48豪雪と言われた昭和48年度をも上回る積雪量となっています。除雪体制が追いつかず、市民の皆さんにはご不便をお掛けし、誠に申し訳なく思っております。

12月中の降雪量は260cmを超え、1月4日にはさらに64cmのドカ雪となりました。

市では、12月26日に災害警戒対策部を設置し、1月5日には災害(豪雪)対策本部に切り替えて、全力で幹線道路などの除雪に当たるよう指示を出しました。また、雪寄せすることが出来ない高齢者や障害者の自宅周囲の除雪、子供たちの通学路の確保にも取り組むよう指示しています。

さらに、すべての市職員に対し、市民生活の安全確保のために全力を尽くすよう指示すると共に、緊急除雪チームを編成し、一人暮らしの高齢者宅などへ派遣、除雪をしてまいりました。

しかしながら、短期間に大量の降雪があったことから、従来の除雪ではまったく間に合わず、昼夜を問わない除



雪作業を行いました。しかもこの時期にはまれな排雪作業を行ないましたが、十分な除雪が出来ないているのが実情です。

そうした中で、除雪ボランティアの皆さんや、地域で活躍された消防団には、ご自宅の除雪もままならない中、ご協力いただきました。また、各町内会ではこうした大変な事態をご理解いただき、自主的に高齢者世帯や、ごみ一時預かり所、消火栓の除雪などに、総出で対応していただきました。さらに、民生児童委員や行政協力員にも高齢者世帯やなだれの危険がある地域の見回りを強化してもらっています。このような市民の皆さんのご協力と心のつながりを目の当たりにし、心強く思うと共に感謝申し上げます。

市には連日、「除雪車が来ない、除雪車が来ても道幅が狭い、雪寄せを終えた後に除雪車が来た、家の間口の除雪車による雪を何とかしてくれ」などの苦情が寄せられています。皆さんのお気持ちは理解できますが、市も除雪業者も精一杯の除雪作業をしておりますので、どうかご理解とご協力をお願いします。今こそ市全体が一丸となって、この豪雪を乗り切りましょう。

小畑 元



雪捨て場では  
ルールを守って安全に  
運ぶのは雪だけ

毎年、雪が溶けた後に、建築資材などの異物やごみなどが大量に残ります。運ぶのは雪だけにしてください。



○転落事故に気を付けて

雪捨て場のほとんどが、河川のそばです。落差があり、雪が緩むと地盤が軟弱になるところもありますので、転落事故など無いように気を付けてください。

○一方通行を守って

雪捨て場の出入り口が、一方通行になっています。逆走すると交差点差出来ないばかりか、事故にもなりかねませんので、一方通行を守ってください。

